

今、来るかもしれない災害に備える

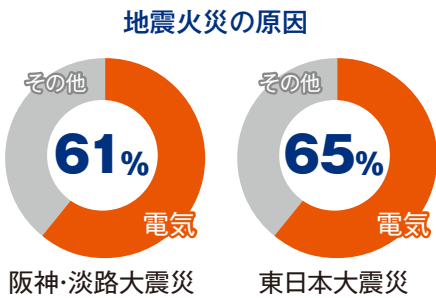
横浜市では、能登半島地震などの地震災害を教訓に改定した「地震防災戦略」を踏まえ、地震火災対策や避難所環境の改善など、実効性の高い対策を進めています。

命と暮らしを守る 災害に強い横浜へ



自宅での発災前の備え

地震火災の原因の
6割以上は「電気」



出典：「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会」報告書より、出火原因が確認されたもの

地震で電気を自動OFF！「感震ブレーカー」の設置を！

- 今年度から、新たに市内全域で、ご家庭ごとに設置費用の50%（上限2,000円）の補助が受けられるようになりました。
- また、延焼火災の危険性が高い木造家屋の密集地域では、全額（100%）の補助が受けられます。



詳しくは
こちら



設置後の声

どの種類の感震ブレーカーが我が家に合うのか、コールセンターで丁寧に相談できて、とても安心できました。迷っていたけど、すぐに解決できて助かりました！



問合せ 感震ブレーカーについて コールセンター ☎0120-993-918

避難所環境の向上

市民アンケートからの声

避難所の
トイレや空調などの
避難所環境が心配...



エアコンや洋式トイレの整備

- 季節による暑さ・寒さに関わらず、地域防災拠点で快適に過ごせるよう、市立学校すべての体育館にエアコンを整備していきます。
- 避難所となる小・中学校のトイレだけでなく、帰宅困難者も利用する公園のトイレも、すべて洋式化していきます。



学校エアコン設置

100%



学校・公園の
トイレ洋式化

100%

問合せ 総務局地域防災課 ☎045-671-2011 ☎045-641-1677



横浜市LINE
公式アカウント

市・区からのお知らせを受け取れるほか、図書館の蔵書
検索や道路の損傷通報などのサービスを利用できます。



発行

政策経営局広報・プロモーション戦略課
横浜市政府 〒231-0005 中区本町 6-50-10

☎ 045-671-2332 ☎ 045-661-2351
☎ 045-671-2121（代表）